

年頭のあいさつ

大町町長 水川 一哉

新年あけましておめでとうございます。

町民の皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

また、日頃から町政全般にわたり、暖かいご支援と、ご理解を、賜り、心からお礼を申し上げます。

さて、去年は地方統一選挙の年に当たり、4月26日執行の、町長選挙では、皆様方には大変お世話になりました。改めて、感謝と、お礼を、申し上げます。

早いもので、町政を任せていただいてから、8か月が、過ぎました。日を重ねるごとに、責任の重さで、身が引き締まる思いがして、おります。

この間、“対話こそ町政の原点！”をモットーに、「町民の声が届く笑顔あふれる元気な町づくり」を目指し、対話を大切に、町民目線の町政運営を心がけてきました。

そして、公約に掲げた施策を着実に推し進めるために、町長対話室の、設置や公設学習塾「まちじゅく」の開設など、先ずはできることから一つ一つ取り組んでまいりました。

今年は、さらに、町民幸福度の向上を念頭に置き、暮らしに安心と希望を持てる施策の実現に邁進していきたいと、思っているところでございます。

特に、町民の皆様が大町町に住み続けたいと思ってもらえるような定住化促進策や子育て支援、教育環境の向上などに力点を置き、加えて、公約の一つに掲げておりましたスーパーの整備は、絶対に成し遂げなければならない、今年最重要施策に位置付けております。

今、その実現のために協議を進めており、近く皆様に御報告を申し上げたいと思っております。

また、その他にも農商工業の振興や、生活環境の向上など、町がやらなければならない行政サービスは多岐にわたっております。大町町の実情・課題に真摯に向き合い、財源の裏付けと実現可能な、施策展開を図っていく必要があると考えております。

現在、平成23年に策定した、町の最上位計画である、「大町町第四次総合計画」前期計画の、検証と評価、そして、町民アンケートによるご意見を踏まえた上で、後期5年間の基本計画と、地方創生に伴う地方版総合戦略との整合性を図りながら、新たな計画の策定作業を急いでいるところでございます。

これらの計画を大町町の魅力創出に向けた戦略的指針としていきたいと考えております。

それから、今年、町制が施行され80周年の記念すべき年に当たります。このおめでたい節目の年を迎え、町では、さまざまな記念行事を計画し、町民の皆様と一緒に大町町の傘寿をお祝いしたいと思っているところでございます。

最後になりますが、町政の主人公は何といたっても町民の皆様です。

これからも、職員共々、町民の声を町政に反映させる対話型行政の推進に、粉骨砕身取り組んで参りますので、ご指導ご鞭撻を賜りますとともに、本年が皆様にとって良い年でありますことをご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。